

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：令和6年 2月28日

事業所名：多機能型事業所育ち 第2事業所

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・少人数や専門士などの個別活動にも応じられるスペースや部屋を確保しており、空間作りを意識している。	気持ちが崩れたり、クールダウンが必要な利用児に対して、保育士や専門士が個別対応出来る空間を活用している。今後も、利用児が集中しやすい環境作りに努めていきたい。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・指定基準を満たしており、加配の職員も配置している。 ・専門士、保育士、児童指導員等の有資格者を適切に配置している。	保育所当訪問支援の訪問員が不在の際、作業療法士として個別活動することが出来ないが、小集団活動の活動内容や振り返りの時間に指導助言したり、保育士等に支援方法を伝えたりすることでカバーしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・段差など少なく、怪我防止に考慮した作りになっている。 ・刺激の少ない環境設定を心掛け、視覚提示の絵カードなども使用している。	・各部屋の目的を理解してもらうことも視野に部屋の名称を記載し、どの職員も共通の名称を使用し混乱させないように努めている。 ・普段の生活に近い環境を意識して、お子様が順応、集中しやすいように空間づくりに努めていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動毎に換気をし、室内の清掃、消毒を行なっている。 ・活動に使用した備品や遊具等は、都度、消毒等を行い、清潔に保っている。 ・送迎車も使用後は、消毒している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々朝礼、終礼時にその日の計画、振り返りを行っている。	・月に1回、行われる外部講師による事業所内研修において、各事業所の支援方法等で悩むことや困っていること等を出し合いグループ討議している。講師による指導助言も含め、事業所内の支援方法について振り返る機会になっている。今後も、利用児に対してより良い支援を提供できるよう継続していきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者からの意見等を大切に、必要があればミーティングの議題に上げ、改善点として、業務改善へ繋げている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページやSNSを用いて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・外部講師による勉強会を定期的に開催しており、アドバイスを受け、業務改善に努めている。 ・公開療育で同業者との情報交換やご意見を参考にしている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部講師による定期的な全体勉強会を実施している。 ・全職員による活動交流会、保育士等と専門士等との活動に対する融合の時間を月に1回設定し、事業所内研修を行っている。 ・月に1回、OTやPTによる勉強会や事例検討を行い、支援を振り返る機会を設けている。 ・必要不可欠な研修だけでなく、職員のスキルアップの研修など受けさせて頂いている。	・職員の当日の配置など考慮した上で、積極的に参加していく。 ・事業所内研修について専門家による職員研修を取り入れているが、今後も様々な分野に対して外部の専門家を招聘し学びを深める機会を作りたいと思う。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・定期的にモニタリング等で振り返りを行い、ニーズに沿った計画を児童発達支援管理責任者が立案している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・児童発達支援管理責任者により標準化されたアセスメントツールでアセスメントと取り、専門士（PT・OT・ST）による評価を実施し、職員間で情報の統一化をしている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインに基づき適切な支援内容を設定している。	・ガイドラインに合わせて、今後も家族内の困り感等も職員間で周知し対応していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・活動内容を計画する際、支援計画に沿った内容を取り入れるようにしている。 ・定期的に職員間で計画を確認しながら支援を行なっている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・専門士と連携し、保育士・児童指導員が立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・フィードバックの反省点を踏まえて次回活動を考えている。 ・同じ課題でも変化をつけ、訓練に繋げている。 ・子どもの特性や年齢に合わせて、様々なプログラムを行なっている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援計画に沿った項目に対して対応している。 ・子どもの特性やその日の状態に応じて個別活動も取り入れている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝礼で必ず来所予定の子ども・担当職員・支援内容・送迎確認など細かく確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後に必ず日々支援の振り返りを全員で行ない、明日以降の活動への見通しを話し合っている。実施できない際は、申し送りを回覧し確認・共有をしている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・終礼時のフィードバックを記録として回覧している（確認後、必ずサインをする）。打合せした内容も毎回記録に残している。	・改善に繋がる点を見直し、スーパーバイザーの指導助言等も交えながら、互いに伝え合い、より良い事業所を目指していきたい。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しの必要性を常時検討している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者はすべての利用児の情報を詳しく把握している為、毎回必ず参画している。 ・必要に応じて、専門士も同席することがある。	・幼稚園、保育園の様子を踏まえながら児童発達支援管理責任者と保育所訪問支援担当者も同席し、より内容を密なものにしていきたい。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・南部保健センターをはじめ、各関係機関と連携し支援を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在、医療的ケアを必要とする児童がいないが、今後、受け入れる場合は対応していきたいと思う。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在、医療的ケア児を受け入れてはいるが、今後、受け入れる場合は体制を整えていきたい。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・日々の電話やメールでの連絡に加え、送迎時にも情報共有を行なっている。又、必要性や要望があれば保育所等訪問支援を実施し、相互理解を図っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・進級・進学に向け、情報共有を行なっている。	・進級、進学に向けて、保育所等訪問支援担当職員も交え、より深い情報共有ができるように働きかけたい。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・併用先の事業所等と連携し、併用先訪問を行い、意見交換を通じて利用児把握等を行っている。 ・子ども療育センターと情報交換を行なっている。	・今後、より地域の状況やより良い療育・サービスを提供できるよう更に連携を強化していきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・戸外活動時に地域に住まわれている子ども達との交流をしている。	・交流の機会や場をもっと作っていきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		担当を決めて参加している	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡ツールや送迎時に活動内容を報告し情報共有を行なっている。また送迎時や面談の際には直接伝えている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・面談時など利用児の様子を定期的に見学してもらっている。 ・必要に応じて、利用児の対応の仕方等を保護者へ伝えている。 ・職員は、ペアレントトレーニングについて外部講師による職員研修を受けている。		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・運営規定など、事業所の玄関に掲示しており、契約の際に丁寧な説明を行うことを心掛け伝えている。		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談の際に、児童発達支援管理責任者から支援計画について丁寧な説明を心掛け、保護者へ理解していただいた上で、同意の署名をもらっている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・必要に応じて(面談を希望される場合など)直接面談も実施している。 ・常時、保護者から相談を受け付け、丁寧に対応するよう努めている。	・相談できる体制を整えているので、送迎時やSNSで相談を受け、面談している。今後も要望があった時だけでなく、こちらから気軽に相談できる場であることを伝えていく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者向けの講演会など実施した。	・来年度は、保護者向け講話実施後に、講師も交えた座談会を開催するよう計画している。 ・また今後、利用児も一緒に交流できる機会を検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談があった際には、誠実に対応・解決するよう努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・連絡ツールを活用して報告ができるようにしている。また活動概要・情報等はホームページにも掲載している。 ・必要に応じて保護者向けプリントを作成・配布している。	・次年度からは、毎月の利用計画書の裏面に月報を作成・掲載する計画を立てている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報ファイルは鍵付き書庫に保管している。職員も個人情報取り扱いについての研修や指導を行っている。 ・Instagramの写真等も取扱いには注意して掲載している。	・掲示物や来客名簿など個人情報に関わるものに対して部外秘である取扱いを全職員で意識している。 ・公開療育等の研修に来所された方には、肖像権に関する承諾書を取り、ホームページ等に掲載する際も個人情報には十分留意し、今後も継続していきたいと思う。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡ツールを用いて日々の活動の様子を具体的に伝えている。 ・絵カードなどの視覚支援も行うなどしている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・地域の中学校に職場体験学習の受入体制が整っていることを伝えた。	・感染症対策を講じながら、公開療育や内覧会などを行っていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・各マニュアル等、いつでも閲覧できるように事務所に掲示していると共に職員への研修も実施している。	・感染症や緊急時に関する対応について、今後対策委員会を設置し、定期的な会議を開催していく予定。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月に一度、子どもと職員で活動の中で訓練を行っておりホームページ・インスタグラム等にて掲載されている。(火災・地震・風水害・不審者侵入等)	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約、見学の際に確認している。 ・母子手帳の記載内容は把握している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・契約時にアレルギー調査を実施し、留意事項等について確認し、全職員で共有している。 ・アレルギーが関係しそうな活動時は事前に保護者へ連絡している。	・食物アレルギーの利用児はいないが名簿を作成していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例が挙がった際は、報告書を作成し職員間で情報を共有している。 ・外部講師による職員研修の中で、事例についてグループ討議し、指導助言を得ている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・身体拘束・虐待防止委員会を定期的に開催している。 ・研修を受け、職員間で共有している。 ・身体拘束・虐待防止に係る職員研修を実施している。 ・強度行動障がい支援者養成研修を全ての職員が受講できるようにし、意識の向上を図っている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・利用契約書に記載しており、契約時に説明を行ない、同意を得ている。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)